安心♥安全 東急新聞

2016年8月23日発行
発行者 和田恵理

まちづくり事業
沿線の人々の生活に密着した事業展開

東急には、点や線の街づくりではなく、面でとらえて生活に密着したサービスと移動手段となる交通までを一体として考えて、鉄道沿線の開発を進めて街づくりをしてきた歴史があります。田園都市線は、東急電鉄が鉄道を敷き、駅や沿線に住宅地や商業施設を造成していき、街の価値が向上してきました。東横線日吉駅に慶應義塾大学を誘致し学生の利用者を増やした歴史もあります。

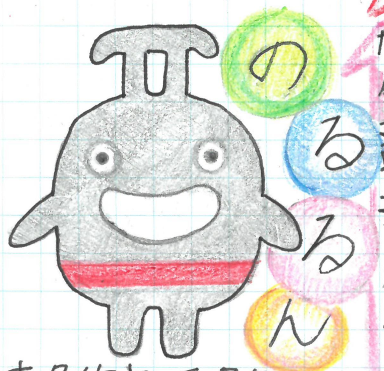
駅に行けばどんな用事もすませられるくらい便利。ショッピングモール、カルチャーセンター、旅行代理店、大学や学校、オフィスビル、銀行、郵便局、デパートなど。たくさんの人が集まってきます。

小さな子供からお年寄りまで、あらゆる世代の人たちが、興味をもって充実した生活が送れ、安心して暮らせるまちづくりを目指し、鉄道事業にとどまらない東急電鉄とそのグループの事業範囲は、私たちの暮らしに欠かせないサービスばかりです。

沿線地域の大動脈
会社の大黒柱の鉄道事業
相互乗り入れでますます便利に!?

現在、相互乗り入れ会社、相互乗り入れ路線は、六社十一路線になります。今後は二〇二二年頃に相鉄線への直通運転を予定しており、ますます便利になる東急線に期待が高まります。

相互乗り入れが進むことで、各鉄道会社の連携が大切になります。事故やトラブルがあったときには、直通運転を取りやめ、折り返し運転に切り替えるなど安全運行を管理しています。東急電鉄の運輸指令所は、お客様の安全を最優先に考えて、連携他社と協力してダイヤを変更するなどしてできるだけスムーズな鉄道輸送を考えます。



東急線キャラクター

乗客の方々の安心・安全が一番大切!!
~安全・安心・便利な鉄道を目指して~

多角化をした東急電鉄ですが、すべての基本は鉄道事業にあります。安全、安心、便利な鉄道を目指した取り組みがあります。

・ホームにいらっしゃる乗客の皆さんの安全を確保するために全駅ホームドアの設置を進めています。

・踏切の事故を防止するために面でとらえるセンサーを導入。

・事故やトラブルがあり運行に支障が出た場合には、素早く詳しい情報を乗客の皆さんに提供し、復旧までの予想時間や、振り替え輸送の案内などを公表します。車内のモニターやスマートフォンのアプリなどで誰でも情報を入手できるので、乗客の皆さんはイライラすることなく、対応を考えることができます。

・相互乗り入れによってより多くのお客様が東急線を利用することを考慮して、路線を色分けし、駅に番号を振ることで、視覚的にわかりやすく表示しています。

↑駅ナンバリング

電車の中で体調が悪くなったり、困ったことがあったら、車内非常通報ボタンを押せば乗務員さんとお話ができます。私はこのボタンを押すと電車が緊急停止してしまうのではと思い、押してはいけないかと思っていたのですが、これからは困ったときにはこのボタンを押そうと思いました。

マナーを守って快適な車内を!!
~みんなが快適に車内で過ごせるように…マナー向上の働きかけ~

多様な人たちが利用する鉄道では、お互いがマナーを守り、相手に対する配慮をすることが大切です。みんなに分かりやすく、マナーの向上を働きかけるために、ポスターや車内の電子広告を使った啓もう活動をしています。列車運行中の車中のアナウンスも有効です。電車を利用する人一人一人が相手の立場に立ってマナーを守り、みんなが気持ちよく過ごせるようにすることが大切です。

ホームドア

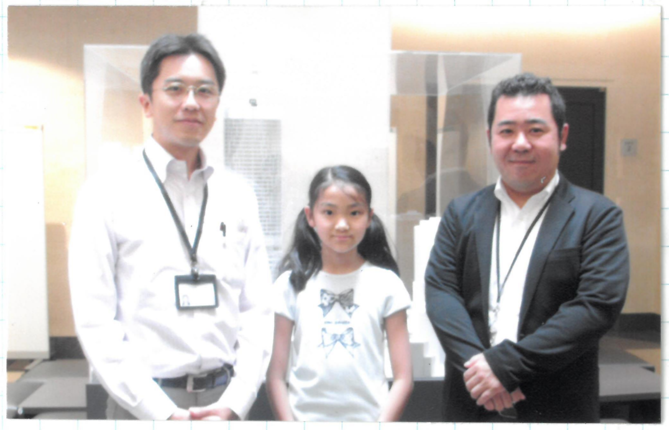
電車はエコでクリーンな乗り物!!

電車はもともと自家用車等に比べるとエコでクリーンな乗り物です。電車に乗れば運転士さんが安全に私たちを目的地まで運んでくださるので、本を読んだり、窓の外をながめたりしながらリラックスして過ごすことができます。自家用車では途中の事故や渋滞等で、到着時間がはっきりしないこともありますが、電車では大体の到着時間の予想がつくので、時間に余裕をもって行動することができます。電車利用が快適になり、たくさんの人が自家用車の利用を控えるようになれば、エコにつながります。東急では、駅の照明をLEDに切り替え、太陽光発電で駅舎のエネルギーをまかなうなど、より一層環境に配慮しています。

編集後記

実際に東急電鉄に乗ってまわり、鉄道、駅、そして駅のまわりには、常にたくさんの人が集まってきていることがよく分かりました。

私たちの暮らしの中心に「駅」があり、駅のまわりには暮らしの礎となる「街」があり駅と駅を結ぶ「鉄道」が、たくさんの人達が「街」を行き来する手段となっていることがよく分かりました。渋谷駅から東横線に乗り、電車が発車する時にドラゴンクエスト序曲が発車メロディになっていて、ワクワクした気持ちになりました。発車メロディは乗客に電車が間もなく出発することを知らせるとともに、飛び込み乗車などの防止にも役立ち、安全運行につながると思いました。全ての駅に導入したらいいのにと思いながら帰宅しました。



東急電鉄広報部の土岐さん、柳沢さんにお話をうかがいました。はなやかな街づくり事業に目が行きがちですが、基本となる鉄道事業における安心、安全な運行の実現のための取り組みについてのお話をうかがい、誰でも利用することができる鉄道と、その関連事業が私たちの暮らしに欠かせない側面になってきていることがとてもよく分かりました。